



8



6



4



7



5



12



9

写真の説明
 ①朝の大蛇巡行②暑さに負けず大蛇を引っ張ります③泣き声が響いた「かませ」④八剣会の子どもたち⑤ミニ大蛇の展示⑥魚のつかみ取り⑦特産の南関そうめんを堪能⑧昼とは違う顔を見せた夜の大蛇巡行⑨踊り子たちが舞います⑩一小3.4年生のソーラン節⑪一小5.6年生による伝統の御神楽⑫松風音楽村も盛り上がりました⑬火を噴く大蛇に歓声があがりました。



1

心踊る祭り
 なんかんぎおんまつり

勇壮な大蛇に歓声上がる

夏の恒例行事である「なんかんぎおんまつり」(主催：なんかん夏まつりぎおんさん実行委員会)が8月3日、関町商店街一帯で開催されました。まつりの目玉である「大蛇山巡行」は昼夜2回行われ、子どもたちは照り付ける日差しの中、「サッサー、サッサー」と暑さを吹き飛ばす元気な声で大蛇山を引っ張っていました。また、南関そうめんの流し、そうめんも行われ、来場者は味と冷たさを堪能しました。

日が暮れ、夜の大蛇巡行が始まると、豪快に首を振り花火や煙をまき散らす大迫力の大蛇山に、観客からは歓声が上がりました。子どもは無病息災を祈願する「かませ」では、子どもたちの泣き声が響き、ステージも最後まで盛り上がり、会場は熱気に包まれていました。

荒尾市からの来場者は「南関町のぎおんさんは毎年楽しみにしています。今年も子どものかませをしていただいていたので、すごく育ててほしい。」と、感想を語りました。



13



10



11



3



2